

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	水防訓練実施事業						担当部	総務部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	危機管理課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	危機管理係							
	総合計画 分野別計画	主目的	1 安全・環境		1 防災		1 防災意識を高めます									
		副目的														
	予算区分	款	2		項	1		目	15		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	災害対策基本法、小牧市地域防災計画														
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	台風や洪水期に備え、関係機関の協力を得て、地域の河川状況を勘案した水防訓練を実施し、職員等の水害対応能力の向上を図り、被害の発生又は拡大を未然に防ぎ、水害による被害の軽減を図る。														
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容 市職員・消防職員をはじめ消防団員・災害協定締結土木事業所による基礎的な水防工法(土のうづくり、積土俵、月の輪、築廻し、板柵土留)、災害ボランティア・訓練参観者による簡易水防工法(家庭のできる水防工法の実演)、災害ボランティア・市職員による非常食アルファ米を使った炊き出し訓練を行った。</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 消耗品・原材料費等(358千円) 水防訓練現場の除草作業委託(586千円) 仮設橋設置委託(300千円) 機材借上(423千円)</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 消耗品・原材料費等(489千円) 水防訓練現場の除草作業委託(614千円) 仮設橋設置委託(400千円) 機材借上(600千円)</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	1,566	1,682	1,667	2,103	
		正職員	従事者数	人	0.15	0.15	0.15	0.15
			人件費	千円	789	789	789	789
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	2,355	2,471	2,456	2,892
	対前年比		%		104.9	99.3	117.7	
財源	一般財源	千円	2,355	2,471	2,456	2,892		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業 績	活動指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	水防訓練実施回数	回	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	水防訓練参加者数	人	目標	700	480	480	480
			実績	700	480	600	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成25年度の実施結果		事業の達成状況	
	事業実施における課題		水防訓練では、基礎的な水防工法を実施することで水害への技能向上等を図っているが、近年頻発するゲリラ豪雨など、実際起りうる水害に臨機応変に対応できる人材育成につながるような訓練内容を検討する必要がある。	
	事業を縮小・廃止したときの影響		市職員にとっては日常、水防工法を学習する機会がないため、水害に関する防災意識が薄れ、行政の水害対応力は確実に低下する。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	新規採用職員研修で土のう倉庫・資機材倉庫・避難所防災倉庫の確認を行った。また、非常配備要員のうち土のう班員を対象に水害対応研修を開催し、水害対応に関する机上研修を行うとともに、土のう作成等、より一層実際の水害対応に即した応急対策に有効な工法の実習を行った。	
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	引き続き水防訓練を行うことで、小牧市の水害に対する防災力を一層強化することが重要である。		
	27年度以降の改善案	より一層、実際の水害対応に即した実用性の高い訓練内容に見直しいき、別の機会を実施している水害対応研修等も活用し、実際の災害時に迅速な対処ができる体制を図る。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 今年度の実施結果を検証し、より一層、実際の水害対応に即した訓練内容への見直しをしていくこと。